



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

コロナ対応と熱中症対策をお願いします

異常気象なのでしょうか、7月の日照不足と反対に、お盆前から日本列島は高気圧に覆われ、浜松では国内観測史上最高気温と並ぶ41.1℃を記録するなど、日本は亜熱帯気候になったかのようです。

短かった夏休みでしたが、始業式での発表や提出された自主学習の量を見ても、子ども達は有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思います。コロナ禍の中、今月は運動会があります。感染拡大防止と熱中症防止のため、低・中・高学年ごとの演技としたり、来賓や地域の方の参加を見合わせ保護者のみの参観としたりする等、これまでとは大分様子の異なる運動会となります。それでも、限られた時間と条件の中ですが、子ども達は懸命に練習し、運動会当日はその成果を発揮してくれるものと期待しています。

残暑の続く日々ですが、子ども達の心と体を支えながら授業や運動会の練習に取り組んで参りたいと思いますので、ご家庭におきましても、コロナ対応と熱中症対策への十分なご配慮をお願いします。

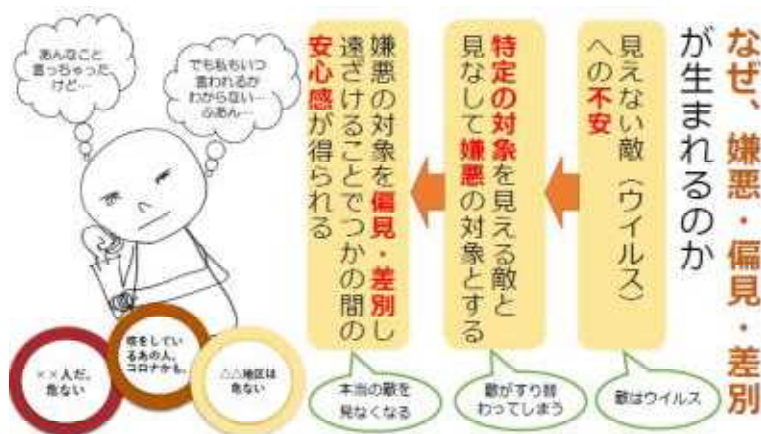
「ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ」の学校

コロナウイルスについては、未だ不明な点が多く、立場の異なる学者や医師などによって見方や対応が分かれていますし、感染学と経済学の接点で進められる様々な国の事業についても賛否両論があることも事実です。日本全国のPCR検査による陽性者は8月初旬に比べ減ってはきているものの、山梨県でも累計が8月26日現在で160を越え、中北地域の児童が陽性者となるなど、山梨県内を見てもコロナウイルスの影響は続いていると思います。これまでよりも検査数が増えていることも要因でしょうが、今後、本校の子ども達や教職員が陽性者となったり、陽性者と同居する濃厚接触者となったりすることが予想されます。

これまで、学校においては、子ども達の感染予防に努めて参りましたが、今後、本校の子ども達が陽性となった場合、一番に大切にしたいことは、「感染拡大の防止」と「誹謗中傷の防止に向けた思い遣る心」です。

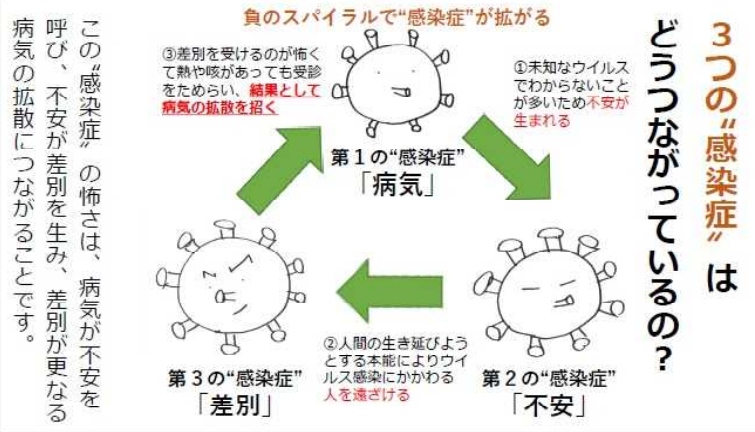
「感染拡大の防止」のためには、日頃からの「こまめな手洗い・咳エチケット・三密をさける」が大切ですが、万が一、子ども達が陽性となった場合は、消毒・感染経路の確認などのために、まずは一時的に2日程度の臨時休校措置をとることになると思います。ただし、全校なのか当該学年だけなのか、2日以上必要なのか等、状況に応じて市教委や保健所等と協議して決定することになります。その際は、通知やマメルメールなどを発出してお知らせしますので、ご承知置き下さい。

始業式で子ども達に、「コロナウイルスに罹患したいと思って罹患する人はいない。大切なのは、発熱で休んだ人を安易に『コロナ』だといったり、陽性者を誹謗中傷しないこと。相手の立場に立って『思い遣る心』で接して欲しい」と伝えました。スクールカウンセラーを講師として、また様々な資料を使って、4・5月の臨時休業中にコロナ禍における子ども達の心の支援のあり方を検討しました。会議に使用した資料『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～』日本赤十字社新型コロナウイルス感染症対策本部(3/26)の一部を載せました。興味のある方は、以下にアドレス(※)を載せましたので、ご確認ください。陽性者だけでなく発熱者や医療従事者等を含めて、「嫌悪・偏見・差別・誹謗中傷」の負のサイクルを断ち切るためには、相手に共感する(Empathy)「思い遣る心」が大切です。今まさに、私たちの「思い遣る心」のありようが問われています。熱が出て休んだら友達からなんて言われるだろう、陽性と言われたら困るからP



CR検査を受けないでいよう、学校には言わないでおこう。では、第3の感染症「差別」に負けたことになります。

発熱したとき具合の悪いとき「無理をしなくて良いよ」と自分への思い遣る心、PCR検査を受けた子がいたとき「検査ができて良かったね」、そして陽性反応が出た子へ「元気になってね、待っているよ」と相手への思い遣る心が持てるようなご指導をお願いいたします。自分の身近な大切な人が陽性者になった時を、本校の教職員や子ども達が陽性者になった時を、様々な状況を想像し、万が一の場合にも慌てず落ち着いて「思い遣る心」を発揮し、力を合わせて第3の感染症「差別」に負けずに対応できるよう、学校・家庭・地域が連携して、「ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ」の時代を乗り越えたいと思います。保護者と地域の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。



※ http://jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

2学期が始まりました

コロナウイルス感染症対策として、校内テレビ放送で2学期の始業式を行いました。全校児童を代表して、1・3・5年生の子どもが、夏休みの様子や2学期に頑張りたいことなどを発表しました。始業式が終わると、子ども達は夏休み前に配布した「あゆみ」や作品等を一つ一つ確認しながら提出していました。また、17日間でしたが、ホコリはしっかりとたまっていたので、翌日から本格的に使う校舎を子ども達は丁寧に掃除していました。



新しく着任した先生を紹介します。

1学期にお辞めになった日向先生にかわり、2学期からはお二人の先生に子ども達の学習支援をお願いすることになりました。学習指導員として伊藤広子先生、スクールサポートスタッフとして上田ゆかり先生です。お二人は、主に「けやき1・2」の支援に入ってくださいことになりました。また、お二人の支援をいただけたことにより、後藤先生は「けやき1」の支援だけでなく全校児童の支援に入ってくださいことになりました。3名の先生方よろしくお祈りいたします。



次第に給食も以前の姿に…

コロナウイルス感染症対策として、1学期は、給食のパンが個包装、当番は先生が中心でした。2学期になって、山梨県・甲府市が警戒レベル1になったことから、給食については徐々にこれまでの形に戻す予定となりました。低学年はしばらくの間、今まで通り教務の先生が応援に行きますが、中学年以上は、子ども達が給食当番を行い、一斉に「いただきます」となります。また、「量の増減」は飛沫感染防止のため箸を付ける前にいき、お玉を使うような「おかわり」は担任が行うこととしました。「ちょっと多いな」「もう少し欲しいな」のバランスがとれると良いと思います。



ご家庭でも熱中症対策を！

始業式翌日から猛暑日が続き、体力が十分でない3年生以下の子ども達が午後3時に下校する場合、熱中症が心配されました。そこで、事前にお祈りの通知を出したとおり、前日の「気象庁の時系列予報」や「環境省の熱中症予防情報サイト」を参考に、熱中症の心配がある5校時で終わりの学年は、保護者にお迎えに来ていただくか、午後4時ごろまで学校内に留め置くこととしました。9月に入ると暑さも一段落するようですが、酷暑から残暑になっただけかもしれません。家の中においても熱中症の発生する場合がありますので、引き続きご家庭でもご注意をお願いいたします。



HPには、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらをご覧ください。

学校通信を発行したので、「今週の子ども達」のアップはありません。